



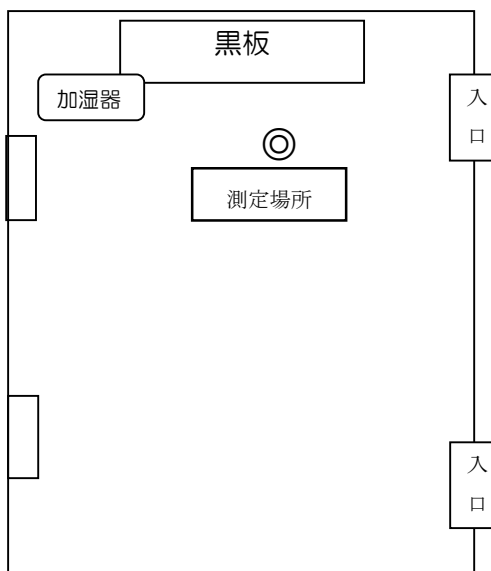
2019年がスタート！健康に気をつけて、充実した1年にしていきたいと思います。

2学期に行った学校環境検査について結果をお知らせします。

教室の二酸化炭素濃度検査 (12/13実施)

学校薬剤師さんが1年生の教室で二酸化炭素濃度（CO₂濃度）の測定をしました。

【CO₂濃度】



二酸化炭素濃度測定器を使い、教室で生徒の顔の高さに合わせて二酸化炭素（CO₂）濃度を測定します。

教室のCO₂濃度は主に皆さんの呼気や暖房で増加します。

1500ppm以下が望ましいとされており、CO₂濃度が増加すると、眠くなる、授業に集中できなくなるなどの影響が出てきます。

1校時の授業終了後、廊下側とベランダ側一部の換気

CO₂濃度は1800ppm



【反省】はじめは、廊下側入口のみの換気だったので不十分だったかもしれません

2校時授業開始10分後

CO₂濃度は2200ppmに上昇

※昨年度の測定では、休み時間に廊下側とベランダ側の両方、5分間の換気で2000ppm→300ppmに減少しています。しっかり換気を行うことが大切です。

教室の換気をしよう！

福商では、幸い2学期にインフルエンザによる欠席者はいませんでした。これから流行が心配です。

かぜ・インフルエンザの予防、そして授業に集中できる環境づくりのため、「教室の換気」にご協力をお願いします。



○各休み時間毎に換気を行う。

（移動教室の時は暖房を消し、廊下側の上部の窓を5cm程度開けておくといよい）

○窓は、ベランダ側と廊下側の両方を開ける（暖房器の排気が入らないように工夫して・・・）

インフルエンザの予防を心がけ、流行を阻止しよう！



【学校での感染拡大でよくある例】

◇ペットボトルの回し飲み、部活動でのコップの共用、用具類を介しての感染

友達とのペットボトルの回し飲みや、部活動で使用するドリンクのコップやタオルの共用。これは接触感染の危険大です。また、部活動で使用する用具類にもみんなのかけ声や汗と一緒にウイルスが付着していることが考えられます。ウイルスのついた手で鼻や目に触れたり、手洗いしないまま食べたりすると感染しやすくなります。練習後は必ず手洗い、うがいをしましょう。

◇部室（密室）での感染

部活動の練習後、部室でどのように過ごしていますか？換気をしない部室（密室）ですずとおしゃべりしたり、何か食べたり、飲んだり（しかも回し飲み・・・）していて、その部活の生徒が一気に感染！という例もありました。同じようにカラオケ感染などもありますので、くれぐれもご注意を！！



症状のある人はマスク着用を！！

⇒体調が悪いのに無理して登校したり部活動に参加したりすると、結果、感染を広げてしまうこともあります。体調が悪い場合は無理せず、早く体調を整えて登校（部活）できるように行動選択をしましょう。

◇その他、通学経路の公共交通機関・施設・人混みからの感染

不特定多数の人が利用する電車・バス等のつり革や手すり、施設等のドア、人混みなども感染の機会となります。あまり気にし過ぎることはありませんが、手洗い・うがいなど予防の基本をしっかりと。⇒インフルエンザ流行期には不必要な外出は避けましょう。

【インフルエンザにかかってしまったら・・・】

「発症した後（発熱の翌日を1日目として）5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで」は出席停止となります。

福商ホームページに掲載されている「学校で予防すべき感染症による出席停止の対応について」をみて出席停止期間を確認してください。後日、保護者の方が記入した「インフルエンザ治療報告書」を担任へ提出してください。（インフルエンザで医療機関を受診したことがわかるもののコピーを添付すること）